

## ●『世界のことばと文化を学ぼう ～多民族国家マレーシア』受講者募集●

- ◆期 間：9月29日、10月6日、13日、20日  
毎週金曜日 19:00-20:30 全4回
- ◆会 場：静岡市国際交流協会会議室（葵区追手町4-16）
- ◆内 容：旅行会社スタッフやマレーシア人留学生による、多民族国家マレーシア（文化・社会・民族）についてのレクチャーです。マレー語での簡単な挨拶や会話も学びます。
- ◆講 師：タン・シュー・ジンほか
- ◆募集人数：どなたでも18人（最少催行人数8人）
- ◆参加費：一般：5,500円  
静岡市国際交流協会会員：5,000円
- ◆申込み：はがきか協会ウェブサイトのいずれかでお申し込みください。（多数抽選）
- ◆締 切：9月13日（水）
- ◆担 当：宮本（本部）

## ●『生活者としての外国人のための日本語教室 9月～12月期』受講者募集●

- ◆期 間：平成29年9月30日～12月9日 全10回  
土曜日 13:30～15:30  
【9月】30日  
【10月】7日、14日、21日、28日  
【11月】11日、18日、25日  
【12月】2日、9日
- ◆会 場：静岡市国際交流協会会議室（葵区追手町4-16）
- ◆内 容：日常生活に必要な日本語を会話と読み書きの練習を通じて学びます。原則として、学習者と日本語サポーターのマンツーマンレッスンです。
- ◆教材費：1,000円（10回分）
- ◆対 象：日本語能力がおおむね初級レベルの学習者
- ◆定 員：15人程度
- ◆申込み：電話かE-mailでお申し込みください。
- ◆締 切：定員に達し次第、締め切ります。
- ◆問 合：宮本（本部）

## ●『牧野スカラシップ奨学生』募集●

- ◆留学期間：平成30年8月より最長5年まで（1年間の短期留学も可能）
- ◆内 容：静岡市の姉妹都市・米国ネブラスカ州オマハ市にあるネブラスカ州立大学オマハ校（UNO）に正規留学する奨学制度です。ネブラスカ州出身の学生と同額の授業料（正規授業料の減免措置で通常の約3分の1）でUNOを卒業することが可能です。
- ◆対 象：静岡市内に在住、在学、または通勤する方
- ◆募集人数：1人
- ◆資 格：詳細はお問い合わせください。
- ◆締 切：11月9日（木）
- ◆面接日：11月19日（日）書類選考（TOEFL等）後、面接となります。
- ◆担 当：鈴木（清水支部）

## ●『異文化コミュニケーション体験フェア』を開催します●

- ◆日 時：10月22日（日）10:30-15:30
- ◆会 場：青葉シンボルロード、ふしみやビル（葵区呉服町2丁目）
- ◆内 容：ステージ、屋台料理、団体活動紹介、ゲストスピーチ、リトルワールドなどを開催予定です。詳細は、SAME NEWS10月号でお知らせするほか、当協会ウェブサイト、facebookでも随時新しい情報をアップしていきます。乞うご期待!!!
- ◆担 当：石黒（本部）

## ●『異文化コミュニケーション体験フェア』当日ボランティア募集●

- ◆対 象：15歳以上で静岡市および近郊に在住または、在勤、在学（中学生は除く）の方
- ◆募集人数：50人程度
- ◆事前説明会：10月21日（土）13:00～14:30
- ◆説明会会場：静岡市国際交流協会会議室（葵区追手町4-16）
- ◆内 容：10月22日（日）に開催されるイベント内での来場者受付、ステージ運営補助、民族衣装コーナー運営補助、会場整理などをお願いします。
- ◆そ の 他：昼食の支給あり
- ◆申込み：ボランティア申込用紙に必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送のいずれかでお申し込みください。  
申込用紙は、協会本部が清水支部の窓口ほか、協会ウェブサイトでも入手可能です。
- ◆締 切：定員に達し次第、締め切ります。
- ◆問 合：石黒（本部）

## ●『異文化コミュニケーション体験フェア』で使用する民族衣装の寄付をお願いします●

- ◆受付期間：8月1日（火）～10月13日（金）  
※必要枚数が集まった場合は募集を締め切らせていただきます。
- ◆内 容：外国の民族衣装の寄付をお願いします。特に、子供用、男性用の衣装が不足しています。詳細については、当協会ウェブサイトでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。
- ◆募集枚数：20枚程度
- ◆担 当：石黒（本部）

\*\*\*お問い合わせ\*\*\*

♪本部 Tel: 054-273-5931  
 ♪清水支部 Tel: 054-354-2009  
 ✉E-mail same@samenet.jp  
 🌐ウェブサイト www.samenet.jp



# Message board

メ ッ セ ー ジ ボ ー ド

おすすめ  
イベント!



## ● 静岡ユネスコ市民講座 「朝鮮通信使と清見寺～日韓の平和遺産～」●

- ◆日 時／8月18日(金) 14:00-16:00
- ◆会 場／常磐町アイワビル 4階 (葵区常磐町1-8-6)
- ◆内 容／現在ユネスコ記憶遺産に登録申請中(今秋2017年決定)「朝鮮通信使」についての講演会です。
- ◆講 師／渡邊康弘さん(郷土史家)
- ◆定 員／市民・会員70人
- ◆参加費／無料
- ◆申込み／直接会場にお越しください。
- ◆主催・問合せ／静岡ユネスコ会員  
Tel : 054-247-2764 (成島)

## ● EGG異文化理解講座 「アメリカ ペンシルベニア州 and 漢字」●

- ◆日 時／8月19日(土) 13:30-15:30
- ◆会 場／番町市民活動センター 2階大会議室 (葵区一番町50)
- ◆内 容／テレビ、ラジオなどでおなじみの漢字教育士(漢字検定1級)「ぶ」先生ことブレット・メイヤーさんの出身大学があるペンシルベニアのお話を日本語と英語でしてくれます。後半には漢字についてのプレゼンをゲームをまじえてしてくれます。
- ◆講 師／ブレット・メイヤーさん (ニュージャージー州出身)
- ◆参加費／700円(アメリカ菓子とお茶付) 学生は500円  
※障害のある方・中学生以下は無料  
※当日直接参加もOK
- ◆対 象／小学校中学年以上
- ◆主催・問合せ／EGG異文化理解教室  
Tel : 080-2611-8546 (EGG事務局)  
E-mail : ibunka\_egg@yahoo.co.jp

## ● 「世界を歩く」旅行見聞記「台湾周遊の旅」 ～2017年3泊4日～●

- ◆日 時／8月19日(土) 19:00-21:00
- ◆会 場／アイセル21 3階33集会室 (葵区東草深町3-18)
- ◆内 容／蓮池潭、日月潭&文武廟、アミ族民族舞踊太魯閣(タロコ)溪谷ほか。情報交換・交流会もあります。
- ◆対 象／どなたでも(連絡不要)
- ◆参加費／200円(ドリンク・菓子付き)
- ◆主催・問合せ／『世界を歩く』(“旅行好きが集う”小さな静岡市民グループ)  
Tel : 090-1832-4723 (三好)  
E-mail : hao3jp@yahoo.co.jp  
HP : http://sekai.eshizuoka.jp

## ● 外国人無料検診会チャリティーコンサート●

- ◆日 時／8月27日(日) 開場14:00 開演14:30
- ◆会 場／静岡英和女学院 中学校・高等学校礼拝堂 (葵区西草深町8-1)
- ◆内 容／静岡英和女学院ハンドベルクワイヤー、静岡大学吹奏楽団によるコンサートです。この収益は11月19日(日)静岡済生会総合病院にて実施される「外国人のための無料健康相談と検診会」の運営費用に使われます。
- ◆参加費／前売チケット：大人1,000円 学生500円  
当日チケット：大人1,200円 学生600円  
小学生以下無料
- ◆主催・問合せ／アジアを考える静岡フォーラム  
Tel : 054-209-5682 Fax : 054-209-5675

## ● イベント通訳ボランティア募集●

- ◆日 時／9月23日(土)、25日(月)、30日(土) 時間等はお問い合わせください。
- ◆会 場／清水港日の出埠頭(清水区日の出町)
- ◆活動内容／清水港に入港する大型客船の乗船客の下船時通訳や、清水港周辺及び静岡市内観光案内説明補助、本部テント放送等です。
- ◆応募条件／英語を話すのが好きな方 (語学力は問いません)  
※清水港周辺の地理に詳しい方歓迎
- ◆その他／交通費支給(1,000円)、弁当または軽食の支給
- ◆申込み／①希望日 ②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤対応可能言語 ⑥メールアドレスを記入、清水港客船誘致委員会(事務局：清水港振興課)へFax又はE-mailでお申し込みください。
- ◆締 切／入港10日前まで
- ◆主催・問合せ／静岡市清水港振興課(河西・渡部)  
Fax : 054-353-1022  
E-mail : shimizukou@city.shizuoka.lg.jp

## ● フィンランド独立100周年記念ミュージカル 「The Story of Finland」 公演決定! ●

- ◆日 時／12月7日(木)
- ◆会 場／清水テルサ 大ホール(清水区島崎町223)
- ◆内 容／ラップランドトリオのラッセ・ヘイッキラさんが来日し、公演が行われます。
- ◆主 催／フィンランド独立100周年記念日本公演実行委員会
- ◆問 合 せ／清水シティチャーチ  
TEL : 054-388-9000 (スリヤ佐野)



## 事業報告

# 「講演会 イタリア発 世界の中の日本という国」

去る6月26日、市役所清水庁舎「ふれあいホール」にて、サッカーのトップチーム、イタリアACミランでメディカルトレーナーとして活躍されている静岡市出身の遠藤友則氏に国際交流、多文化共生をテーマに講演をしていただきました。聴講者のお一人に、その感想を寄せて頂きました。

\*\*\*\*\*

富士山が見える静岡市清水区三保に住んで11年になる。わが家と目と鼻の先にある「三保の松原」は、ユネスコの世界文化遺産（構成資産、2013年6月登録）だ。私は1941年生まれ、「戦中派」カナ。いまはカミさんと二人暮らし。MLB（米大リーグ）の長年のファンのあと、サッカーファンになった。海外で活躍する選手を追い、テレビで視聴するようになったのが始まりだ。

先日、清水区役所ホールであったACミラン・メディカルトレーナーの遠藤友則さん（56）の講演をカミさんと聴きに行った。暗くした会場、スクリーン横の壇上にスライドを操る遠藤さん本人。講演はつぎつぎ映し出されるスライドとともにぐいぐい進む。『ベッカム（英）、ロナウジーニョ（伯）、カカ（伯）。そうそうたる選手との写真が映されると、約100人の聴衆から感嘆の声が起きた』（7月1日付、朝日新聞静岡版の記事から）。遠藤さんは清水東高FWのとき左ひざの前十字靭帯を損傷、選手生活を断念せざるをえなくなった。その後進学、夜間の鍼灸専門学校にも通い理学療法の道へ。詳しい経緯ははぶくが、ACミラン（イタリア）のメディカルトレーナーを18年、しかも1年ごとの契約。まさしく世界の一流選手から信頼を得るまでの努力や工夫、1男3女のいる家庭ぐるみのイタリア生活の一部始終が講演のなかみだった。

私が最も感心したのは、ご長男が洗礼を受けると決めたときの一家の対応だ。遠藤姓にクリスチャンネームが加わることに。日本人の親として、驚かない人は稀だろう。一家は自然体でのぞんだようだ。また、外国での生活は子どもの方が早く適応、親は子どもの通訳でどう対処したらよいか知ったという。プロとしての仕事ぶりもさながら、「1年契約」の父のもとで、いろいろあったのだろうが無事に乗り切ってきたみなさん。

最後に「出会い」と謙遜した遠藤さんだが、「戦中派」の私が感じるのは、まだまだ日本は偏見の強い社会であること。遠藤さん一家が体で感じた外国での暮らしの良し悪し。これからの生活でも、そうした「自然体」が活かされるよう願わずにはいられない。また、老人にも「糧」となるような講演を聴きたい。

（文 ミヤクラ次郎・ペンネーム）



## お知らせ

# 「在外日本語学習者の訪日事業助成金」を交付します

静岡市国際交流協会では、日本に関心を持つ在外日本語学習者に日本文化や静岡市について理解を深めてもらうことを目的に、「在外日本語学習者の訪日事業助成金交付要綱」を制定しました。活動の拠点が日本国外にある、大学、短大、専門学校、高等学校または日本語学校等に在籍して日本語を学習する1団体5名以上で構成される団体に助成金を交付します。

### ●助成対象事業

静岡市内滞在中に行う、日本語教育、ホームステイ、日本文化体験、芸術・スポーツ等を通じた国際交流活動など

### ●助成対象経費

市内の移動にかかる交通費、文化施設や観光施設等の視察にかかる経費、記念品購入費、一泊以上ホームステイを行う際のホストファミリーに支払う謝礼、コーディネーター協力料

### ●助成額

訪問する青年1人につき1万円とし、当該青少の人数により算出する。ただし、1団体へ交付する助成金の上限額は、1回の申請につき12万円とする。

### 〈申込方法〉

日本到着日から起算して30日前までに、在外日本語学習者の訪日事業助成金交付助成金交付申請書（第1号様式）に、次の書類を添えてお申し込みください。

### 〈添付書類〉

- ▶ 詳しい旅程を含む事業計画書（様式第2号）
- ▶ 参加予定者の名簿（様式第3号）
- ▶ 収支予算書（様式第4号）

詳しくは在外日本語学習者の訪日事業助成金交付助成金交付要綱をご覧ください。



平成29年度静岡市国際交流協会団体・法人会員  
(2017年6月にご入金いただいた会員様)

アジアを考える静岡フォーラム APIVA 在日本大韓国民団静岡  
岡県地方本部 静岡ムスリム協会 静岡インターナショナルスクール 静岡大学  
以上、ありがとうございました。

AUGUST Event Calendar

1日(火)	外国語講座(実践英語2)
2日(水)	外国語講座(実践英語5)
3日(木)	外国語講座(実践英語4)
4日(金)	
5日(土)	日本語ボランティア養成講座
6日(日)	静岡市大学生訪韓研修事前研修
7日(月)	外国語講座(実践英語3)
8日(火)	
9日(水)	
10日(木)	
11日(金)	
12日(土)	閉館
13日(日)	閉館
14日(月)	異文化コミュニケーション体験フェア運営委員会、静岡市青少年シェルビール市派遣(21日まで)
15日(火)	
16日(水)	
17日(木)	
18日(金)	
19日(土)	日本語ボランティア養成講座
20日(日)	静岡市大学生訪韓研修事前研修
21日(月)	外国語講座(実践英語3)
22日(火)	外国語講座(実践英語2)
23日(水)	外国語講座(実践英語5)
24日(木)	外国語講座(実践英語4)
25日(金)	
26日(土)	わくわくキッズ英語
27日(日)	閉館
28日(月)	外国語講座(実践英語3)
29日(火)	外国語講座(実践英語2)
30日(水)	外国語講座(実践英語5)
31日(木)	外国語講座(実践英語4)、静岡市大学生訪韓研修(9月5日まで)

イベント内容は、諸事情により予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。



外国語相談員勤務日

曜日	地区	時間	言語
月	清水	8:30~17:15	ポルトガル語
火	静岡	13:00~17:00	フィリピン語
	清水	8:30~17:15	ポルトガル語
水	清水	8:30~11:30	フィリピン語
木	静岡	10:00~15:00	ポルトガル語
		13:00~17:00	中国語(8月17日まで)
	清水	9:00~17:00	スペイン語
		13:00~16:00	中国語
金	清水	8:30~12:00	ポルトガル語

英語は本部・支部ともに随時、スペイン語は本部のみ随時受け付けています。都合により勤務日に変更になる場合がございます。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。



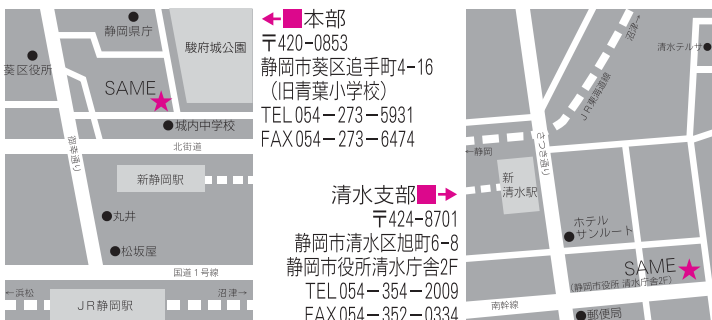
静岡市外国人住民数

平成29年6月30日現在

国	籍	計	前月比	国	籍	計	前月比
1	中国	2,071	9	17	英国	47	-2
2	韓国	1,289	-8	19	ロシア	32	0
3	フィリピン	1,263	-3	20	カナダ	30	-1
4	ベトナム	749	1	21	フランス	28	-3
5	ブラジル	599	-8	22	マレーシア	24	0
6	ネパール	524	4	23	オーストラリア	20	0
7	ミャンマー	401	8	24	ボリビア	19	-1
8	インドネシア	350	8	24	ルーマニア	19	0
9	朝鮮	183	-2	26	アルゼンチン	14	0
10	米国	168	0	26	トルコ	14	0
11	スリランカ	156	2		その他	173	1
12	タイ	140	-7		静岡市の外国人住民総数	8,742	-4
13	台湾	128	0		静岡市の人口に占める外国人住民の割合		1.24%
14	ペルー	113	-1				
15	バングラデシュ	86	-1		全国の外国人登録者数(平成27年末現在)	2,232,189	
16	インド	52	-1		全国の人口に占める外国人住民の割合		1.67%
17	パキスタン	50	1				

静岡市国際交流協会(SAME)  
Shizuoka City Association for Multicultural Exchange

E-mail ..... same@samenet.jp  
協会Webサイト..... www.samenet.jp  
動画サイト ..... www.youtube.com/user/samewebtv  
Facebook ..... www.facebook.com/welcometoSAME



スタッフだより

7/7から7/16までの間、姉妹都市の1つアメリカ西部にあるストックトン市の青少年5人が静岡市を訪れました。私はプログラムの中で、清水港の周辺散策と井川小・中学校訪問の2日間に同行させて頂きました。参加した生徒さんたちはとても礼儀正しく、何かあればお辞儀をし、お礼の言葉を日本語で言ってくれました。中には、この日のために自分で名刺を作り自己紹介してくれたり、アメリカのお菓子和ミニサイズの国旗を袋に詰めて同行者にプレゼントしてくれたりしました。積極的ではあるのですが、なにか日本人的な気持ちのやさしさも感じました。彼らが日本を訪問したい!と思ひ、興味を持ってくれたのはこの「気持ち」にも共通したものを感じたのかな?と思ったりしました。実は私は、長く英語学習をしています。英語にはポジティブな単語が多く、多民族の国で使われるので、お互いのコミュニケーションをとるため言葉にすること、気持ちや意見を伝えることが大事だと学びました。感謝を表す言葉も多く、自分の気持ちを言葉にして相手に伝えるのが苦手だった私でしたが、自分が変わってきたなあと感じます。これからますます外国の方が日本を訪れ、生活されると思います。言葉は理解しあうための一つの手段ではありますが、その言葉に気持ちに乗せて交流していけたらいいなとつくづく感じた日々でした。(SAKAI)